



今月は、各学部・部門の紹介です。

重心部門

今回は、重心部門の授業に関する目標についてお話しします。目標は大きく二つあり、一つ目は「体験を通した個別最適な学びの充実」、二つ目は「ICT 機器を活用した授業の実践」としています。

一つ目については、児童・生徒一人ひとりの違いに合わせた学び方や内容を工夫した体験的な学びの機会を充実していきます。例えば、運動、音楽、制作などの授業の中で、体操をしたり、楽器を演奏したり、触って肌で感じたり、作ってみたりと様々な教育活動を行っていく予定です。二つ目については、タブレット端末や電子黒板などの ICT 機器を活用し、児童・生徒の興味や関心を引き出しながら、よりわかりやすい授業を実践していきます。

多様な体験をとおして学びを深められる学校生活となるよう取り組んでいます。

小学部

小学部は、各学年1組と2組があります。1組は教室での集団指導の他、児童それぞれの病状、学習状況に応じて、教室エリア内や入院する病棟エリアで個別に学習を行うこともあります。2組は児童の病状、学習状況に応じて、各病棟エリアにある学習室やベッドサイドなどで学習を行っています。

施設・リハビリ棟1階にある1組教室エリアの一か所にメダカが元気に泳いでいる水槽があります。5年生の理科の授業内容の一つとして育てていますが、子どもたちに人気で、餌やりやコケの除去作業など進んで行ってくれます。また、教室前の花壇では、せいかつや理科の学習で育てている枝豆やミニトマトなどが芽を出し、苗が大きく育ってきています。これらは入院により実際の体験機会の少ない子どもたちにとっての貴重な活動となっています。



中学部

中学部は、こども医療センター（本校）のほか、神奈川県立精神医療センター（芹が谷学級）に設置され、生徒は主治医の指示に応じて教室に登校したり、病棟ベッドサイドで授業を受けたりしています。教室では、学年ごとに教科書を使った一斉授業を行います。少人数クラスであることを活かし、それぞれの学習状況を確認しながら授業を進めています。ベッドサイド授業でも、体調等を考慮しながら各生徒のペースに合わせて学習を進めます。また、学部集会やスポーツ大会といった学部行事、職業講話等の特別授業も行っています。

活動制限がある中でも楽しく学べ、笑顔があふれる環境づくりを心がけながら日々の学校生活を送っています。



図書コーナーの一部です。
学校の本は、病棟の自室で
読むこともできます。



学部で世話しているウーパールーパー「うーたん」です。中学部

★芹が谷学級について

芹が谷学級は、神奈川県立精神医療センター内にある横浜南支援学校中学部の訪問教育の学級です。病棟内に学習室があり、電子黒板、電子ピアノ、PC等が常備されています。

生徒は、時間割に基づいて学習室（教室）に登校し、本校中学部から訪問する教員の授業を受けています。また、体育は精神医療センター内の体育館で行っています。（芹が谷学級担任）



芹が谷学級の教室と体育館です。
3学年合同で学習します。

すぐーる（連絡システム）について

今年度より、学校からの連絡で「すぐーる」を利用します。まだ登録されていない方は、配付してある二次元コードより利用登録にご協力お願いいたします。

横浜南支援学校ホームページでは南の風のバックナンバーや学校生活について見るができます！

URL (<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/>)

スマートフォンやタブレット端末の方は二次元コードからもアクセス可能です→

